

令和4年度設備設計一級建築士講習のご案内

令和4年5月

登録講習機関 公益財団法人建築技術教育普及センター

登録年月日：平成20年11月28日 登録番号：第1号

令和4年度より、受講申込みは、原則として、「インターネットによる受付」のみとなります。

なお、インターネットによる受講申込みが行えない正当な理由がある場合(身体に障がいがありインターネットの利用が困難である等)には、別途受付方法をご案内いたしますので、受付期間に間に合うよう、お手数ですが6月24日(金)までに公益財団法人建築技術教育普及センター本部までお問合せ下さい。

また、受講申込みに必要な書類等は、申込区分によって異なりますので、事前に確認し、受付期間に間に合うよう必ず準備のうえ申込みして下さい。

1. 受講申込区分(下記の4種類の申込区分から該当する区分で申込して下さい。)

(1) 申込区分Ⅰ(全科目受講)

講習の全科目を受講する場合の区分で、「一級建築士」が対象となります。初めて受講される方又は過去に受講された方で、科目免除対象者(下記(2)～(4))に該当しない方は、申込区分Ⅰで申込して下さい。

(2) 申込区分Ⅱ(法適合確認のみ受講)

令和2年度又は令和3年度に実施された設備設計一級建築士講習の修了審査において「設計製図」に合格された方が、講義及び修了審査のうち、「設計製図」に対応する「建築設備に関する科目」の免除を希望する場合の区分です。

(3) 申込区分Ⅲ(設計製図のみ受講)

令和2年度又は令和3年度に実施された設備設計一級建築士講習の修了審査において「法適合確認」に合格された方が、講義及び修了審査のうち、「法適合確認」に対応する「設備関係規定に関する科目」の免除を希望する場合の区分です。

(4) 申込区分Ⅳ(建築設備士資格者)

「一級建築士」であり、かつ「建築設備士」の資格を有する方が、講義及び修了審査のうち、「建築設備に関する科目」の免除を希望する場合の区分です。

(注1) 令和2年度又は令和3年度に実施された設備設計一級建築士講習の修了審査において「法適合確認」に合格され、かつ、「建築設備士」の資格を有する方は、全ての講義及び修了審査の免除を希望することができます。該当の方は、設備設計一級建築士講習問合せダイヤル(電話050-3033-3827)まであらかじめご連絡下さい。

(注2) 建築設備士資格取得による「設計製図」科目免除の特例措置について

申込区分Ⅰ又は申込区分Ⅲの方で、併せて令和4年建築設備士試験を受験し合格した方は、講義及び修了審査を受講した結果、「設計製図」科目が不合格となっても令和4年度設備設計一級建築士講習を修了と判定することとします。ただし、受講申込時に令和4年建築設備士試験の受験票の写しを添付する必要があります。

2. 受講手数料(他に、ネット受付事務手数料が必要です。)

(1) 申込区分Ⅰ(全科目受講) 66,000円(うち消費税額6,000円)

(2) 申込区分Ⅱ(法適合確認のみ受講) 44,000円(うち消費税額4,000円)

(3) 申込区分Ⅲ(設計製図のみ受講) 55,000円(うち消費税額5,000円)

(4) 申込区分Ⅳ(建築設備士資格者) 44,000円(うち消費税額4,000円)

3. 講習の構成

(1) 講習は、テキストを使用した3日間の講義と1日の修了審査の構成により実施します。ただし、講義については、「会場での受講方式」に代えて「配信動画の視聴による受講方式」(オンデマンド配信による講義動画を9月26日(月)～10月10日(月)の配信期間内に視聴完了する受講方式)を選択できるものとします。ただし、修了審査については、受講方式にかかわらず必ず会場で受ける必要があります。

(2) 会場での講習は、下記の日程及び内容で行われる予定です。(○は受講すべき科目)

日 程	標準時間	内 容	申込区分					
			I	II	III	IV		
講 義	第1日	午前 10:00～12:00(2時間)	建築設備関係法令	○	○	免除	○	
		午後 13:00～14:00(1時間)	建築設備設計総論	○	○	免除	○	
		14:00～18:00(4時間)	法適合確認	○	○	免除	○	
	第2日	午前 10:00～12:00(2時間)	電気設備の設計技術	○	免除	○	免除	
		午後 13:00～15:00(2時間)	電気設備の設計技術	○	免除	○	免除	
		15:00～18:00(3時間)	空調・換気設備の設計技術	○	免除	○	免除	
	第3日	午前 10:00～11:00(1時間)	空調・換気設備の設計技術	○	免除	○	免除	
		11:00～12:00(1時間)	給排水衛生設備の設計技術	○	免除	○	免除	
		午後 13:00～16:00(3時間)	給排水衛生設備の設計技術	○	免除	○	免除	
	修了審査	11月20日(日)	午前 10:00～12:00(2時間)	法適合確認	○	○	免除	○
			午後 13:15～17:15(4時間)	設計製図	○	免除	○	免除

(3) 講習日程表

講習地	講習コード	講 義			修了審査	
		受講方式	日程	会場	日程	会場
札幌市	AA	会場	9/28(水)～9/30(金)	大五ビル2階会議室	11/20(日)	かでの2・7
	AB	配信動画	9/26(月)～10/10(月)	オンライン		
仙台市	BA	会場	10/3(月)～10/5(水)	宮城県建設産業会館	11/20(日)	宮城県建設産業会館
	BB	配信動画	9/26(月)～10/10(月)	オンライン		
東京都	CA	会場	9/26(月)～9/28(水)	KFCビル	11/20(日)	中央工学校 3号館・17号館
	CB	配信動画	9/26(月)～10/10(月)	オンライン		
名古屋市	DA	会場	10/5(水)～10/7(金)	昭和ビル9階会議室	11/20(日)	昭和ビル9階ホール
	DB	配信動画	9/26(月)～10/10(月)	オンライン		
大阪府	EA	会場	10/5(水)～10/7(金)	OMM2階会議室	11/20(日)	中央工学校OSAKA
	EB	配信動画	9/26(月)～10/10(月)	オンライン		
広島市	FA	会場	9/27(火)～9/29(木)	広島工業大学広島校舎	11/20(日)	広島県情報プラザ
	FB	配信動画	9/26(月)～10/10(月)	オンライン		
福岡市	GA	会場	10/3(月)～10/5(水)	東福第2ビル5階会議室	11/20(日)	リファレンス大博多ビル
	GB	配信動画	9/26(月)～10/10(月)	オンライン		

4. 修了考査

- (1) 修了考査は、令和4年11月20日(日)全国一斉に実施します。
- (2) 修了考査は、次の表の考査区分、出題形式等により行います。(設備設計一級建築士講習テキスト2022年版参照可)

考査区分	出題形式	出題科目	出題内容
法適合確認	記述式	設備関係規定に関する科目 (空調・換気設備、給排水衛生設備、電気設備、輸送設備)	・空調・換気設備(必須)：5問 ・電気設備(必須)：5問 ・給排水衛生設備(必須)：5問 ・輸送設備(必須)：5問
設計製図	記述式及び製図	建築設備に関する科目 (設備計画、設備設計)	・設備計画(必須)：10問 ・設備設計(選択※)：各3問 ※空調・換気設備、給排水衛生設備、電気設備の3分野から一つを選択

5. 修了発表

修了考査の結果等の通知 令和5年1月27日(金)(予定)
 修了考査の結果は、可否にかかわらず通知します。修了者については、「設備設計一級建築士講習修了証」の発行をもって修了考査の結果等の通知に代えることとします。なお、未修了者については、その旨を記載した通知書(以下「未修了通知書」という。)を送付します。また、修了者の受講番号をセンターホームページ(<https://www.jaeic.or.jp/>)に掲載します。

6. 受講資格

「一級建築士」として5年以上設備設計の業務に従事した方が対象となります。ただし、「建築設備士」の資格を有し、設備設計等に関する業務(建築設備の設計又は工事監理に関し、建築士に意見を述べる業務)を行っている場合は、一級建築士登録以前であっても、当該業務の期間を含めることができます。
 詳細は、センターのホームページ(<https://www.jaeic.or.jp/>)で確認して下さい。

7. 受講申込受付

- (1) 受付期間
令和4年6月13日(月)午前10時~7月1日(金)午後4時
- (2) 申込方法
受付期間に設備設計一級建築士講習の申込サイトで必要な情報(業務経歴書・業務経歴証明書を含む。)を入力し、顔写真及び受講申込みに必要な書類(下記8参照)の電子ファイル(顔写真についてはJPG又はJPEG形式(5Mb以内)、その他の書類についてはJPG、JPEG又はPDF形式(5Mb以内))を取り込んで所定の場所に添付し、センターの指定するクレジットカード、コンビニエンスストア又はペイジー(Pay-easy)のうちいずれかの決済により受講手数料を納付して下さい。詳細は、センターのホームページ(<https://www.jaeic.or.jp/>)で確認して下さい。

8. 受講申込みに必要な書類

- (1) 必ず全員が準備するもの
無帽・無背景・正面上3分身で撮影された顔写真
- (2) 初めて受講される方が準備するもの
 - ① 申込区分I(全科目受講)及び申込区分IV(建築設備士資格者)共通
イ. 一級建築士免許証又は一級建築士免許証明書
ロ. 業務経歴書・業務経歴証明書(申込受付画面上に入力フォームがあります。)
業務経歴証明書は、正当な理由がない限り、下記に該当する第三者の証明が必要となります。
・本人が建築士事務所所属している場合は、当該建築士事務所の管理建築士
・本人が管理建築士である場合は、原則として事務所内の他の建築士
・個人事務所の場合や当時の管理建築士が死亡等の場合で、これらの証明ができない場合は、事務所外の他の建築士(同業者、取引先、知人でも可。)
 - ② 申込区分IV(建築設備士資格者)のみ
建築設備士試験合格証書※又は建築設備士登録証
※建築設備士試験合格証書を紛失された場合は、建築設備士試験合格証明書をセンターにて発行します。発行申請の手続き方法については、設備設計一級建築士講習問合せダイヤル(電話050-3033-3827)までお問合せ下さい。
- (3) 過去に受講された方が準備するもの
 - ① 申込区分I(全科目受講)又は申込区分IV(建築設備士資格者)
過去の受講票又は未修了通知書(何年前のものでも有効です。)
 - ② 申込区分II(法適合確認のみ受講)又は申込区分III(設計製図のみ受講)
令和2年度又は令和3年度の受講票又は未修了通知書
※過去の受講票等を紛失された方は、設備設計一級建築士講習問合せダイヤル(電話050-3033-3827)までお問合せ下さい。
- (4) 令和4年建築設備士試験の受験票(該当者のみ)
申込区分I又は申込区分IIIの方で、建築設備士資格取得による「設計製図」科目免除の特例措置(1頁参照)を希望される方は、令和4年建築設備士試験の受験票の写しを添付して下さい。

9. 受講票の交付

受講票は9月12日(月)頃からマイページ※においてダウンロードができます。本年から受講票の郵送は原則として行いませんので、必ず印刷をしたうえで講習会場に持参して下さい。
 ※マイページとは、インターネットによる受付において受講申込手続き完了後から利用できる受講者専用のページです。

受講申込みに関する問合せ先

公益財団法人 建築技術教育普及センター				
本部・支部名	所在地		電話	FAX
本部	〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-6 紀尾井町パークビル		050(3033)3827	03(6261)3320
関東支部			問合せダイヤル	03(6261)3321
北海道支部	〒060-0062 札幌市中央区大通西5-11 大五ビル		011(221)3150	011(221)4136
東北支部	〒980-0824 仙台市青葉区支倉町2-48 宮城県建設産業会館		022(223)3245	022(262)3617
東海北陸支部	〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26 昭和ビル		052(261)6816	052(251)7591
近畿支部	〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 OMM		06(6942)2214	06(6942)6144
中国四国支部	〒730-0051 広島市中区大手町2-11-15 新大手町ビル		082(245)8055	082(242)6935
九州支部	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-9-1 東福第2ビル		092(471)6310	092(471)5195

センターのホームページ(<https://www.jaeic.or.jp/>)で制度案内、受講に関する情報を提供しています。